

○ 主な意見と都・区市町の見解

分類	主な意見の概要	都・区市町の見解
改定整備方針全般	<ul style="list-style-type: none"> 避難場所や防災拠点となる公園緑地の整備促進は重要課題である。 新規に大規模公園の整備を促進することは英断として評価する。 欧米都市に比べてまだまだ足りない公園整備を進めてもらいたい。 今は緑地整備事業よりも防災施策等を進めるべき。 整備費や維持費など見えないところで無駄遣いがないように。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回の改定のねらいは、水と緑のネットワークの形成とともに、今般の震災を踏まえた首都東京の防災機能の強化である。 このため、震災時に避難場所や救助等の活動拠点となる公園の拡大に、特に重点的に取り組むこととした。 今後とも、整備方針に基づき公園・緑地の整備を加速させ、安全、快適で緑豊かな東京を実現していく。
事業化計画、優先整備区域の設定や事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ早い整備を希望する。 都の「防災公園」化という計画に賛成。 近くに大規模公園があり新しい公園整備の必要はない。 事業化計画を見直してほしい。 優先整備区域を追加し、整備対象の公園を増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業化計画については、改定のねらいを踏まえ、公園・緑地の機能と役割、効果的なネットワークの形成の観点から「重点化を図るべき公園・緑地」を選定し、その中から、区域の重要性や整備効果の高さの観点から優先整備区域を設定し、とりまとめている。 事業にあたっては、地元の方々の理解と協力を得て進めていく。
多様な主体との連携による整備促進	<ul style="list-style-type: none"> センター・コア・エリアを対象とする民間都市開発との連携については、実効性のある制度運用を望む。 センター・コア・エリアを対象とする民間都市開発との連携については、民間の利益優先にならないようなルール化を求める。 特許事業の要件緩和の具体的な条件を提示してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> センター・コア・エリアを対象とする民間都市開発との連携や特許事業の要件緩和については、今後、適用条件など、適切に運用していくための基準を定めていく。
都市計画の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 「整備を要しない区域」は特別緑地保全地区へ変更すべき。 優先整備区域以外の都市計画を廃止してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画公園・緑地は、必要な施設として決定されているものであり、見直しについては慎重な検討が必要である。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 大気汚染対策として沿道の緑地や公園を増やしてほしい。 大規模な公園だけでなく毎日利用できる街区公園を充実してほしい。 太陽光発電による公園内電力の確保を提案する。 国分寺崖線など残された自然を保全するための規制を強化してほしい。 大規模マンションへの公園の設置を指導してほしい。 意見募集方法の改善を希望する。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見については、今後の公園・緑地行政等の参考とさせていただきます。